

学校生活で注意すること

一人ひとりが自覚して、感染防止に努めよう。

1 登校前

- ・検温をする。
- ・健康観察カードを記入する。
- ・マスクを着用する。
- ・ハンカチ（タオル）、ティッシュの準備をする。
- ・熱が37.5度以上ある時または風邪症状がある時、保護者が学校に電話で相談する。

2 登校後

- ・検温を忘れたら学校で測る。
- ・手洗いをしてから教室へ入る。

3 授業

- ・換気をするので、寒く感じられる場合は教室内でも防寒着（ウインドブレーカー、タイツなど）着用可。
- ・忘れ物があっても貸し借りはせず、担当の先生に申し出る。
- ・机の向きを変えての活動は行わない。
※話し合い活動等は必要に応じて行うこともあるが、体の向きのみを変えて行うなど、教科の特性に合わせて行うので、担当の先生の指示をよく聞いて取り組む。
- ・用具等共同で扱う場合、手を洗ってから使用する。使用後は、教師が消毒する。

4 休み時間

- ・密集、密接を避けて過ごす。
- ・手洗いをする。 3年→教室前、保健室前、1階被服室前
2年→教室前、1階美術室前、3階理科室、3階大会議室前
1年→教室前、4階図書室前、4階理科室、4階LL教室前

5 給食

- ・給食当番は、持参のエプロン、三角巾を着用する。
- ・手洗いをする。
- ・準備中、給食当番以外は、教室の外で待つ。
- ・量の調整は教師が行うので、申し出ること。

6 環境美化・清掃

- ・きれいな環境を保つよう意識する。
- ・使用したティッシュは決められた場所にきちんと捨てる。マスクは持ち帰る。
- ・清掃前後、手洗いをする。

7 部活動

- ・部室（更衣室）は学年ごとに分かれるなど、少人数で利用する。
- ・基本は個人で活動する。
- ・体調が悪い場合は、顧問の先生に報告し活動をせず休養する。
- ・当分の間（指示があるまで）、朝部と対外試合を中止する。

8 その他

- ・登校後体調が悪くなった場合は、担任の先生や教科担当の先生に申し出て職員室で対応してもらう。
- ・食事や睡眠などの基本的な生活習慣を整え、抵抗力を高める生活を心がける。
- ・『出席停止扱い』で自宅休養した場合、状態が改善し登校するときに『登校届』を提出する。
- ・「学校生活で注意すること」は状況により見直すことがある。

（参考）手洗いと咳エチケット（出典：首相官邸ホームページ）

